

ごあいさつ



鳥取県立米子高等学校の校長として着任し、2年目を迎えました。

秀峰大山が早春の光に輝く中、新型コロナウイルス感染症対策を行い、入学式を挙行し152名の新入生を迎えることができました。ひとえに保護者の皆様をはじめ、ご出席いただいた皆様のご理解、ご協力の賜と心より感謝申し上げます。併せて、日頃より地域の皆様をはじめ多くの皆様からご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本校の教育目標は「生徒の個性、能力の伸長を図りながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め地域に信頼され、地域に貢献する人材の育成」です。この教育目標のもと、学習活動におけるアクティブ・ラーニング推進と、地域連携に重点を置き活動しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症に立ち向かった年でした。学校臨時休業から始まり、「新しい学校生活様式」のもとすべての教育活動の在り方が大きく変化し、ICT活用が進みました。ICTを活用した分割授業やスマートフォンを使用した授業、課題配信、健康観察等、どのような状況にあっても学びを止めないという思いで、学力保障に努めました。今後更にGIGAスクール構想が加速します。変化は進化と捉えこれからの情報化社会で生きていく生徒たちの未来を見据えた教育活動に取り組んで行きたいと考えています。

また、「学校運営協議会（コミュニティスクール）」と生徒会執行部で、人権意識の高揚とSGDs 4・11を目標として「はるかのひまわり絆プロジェクト」に取り組み、地域の保育園、小中学校とともにひまわりを栽培しました。今年度も継続し、地域と共に生きる学校でありたいと思っています。また、昨年度「高校生が考える自転車ヘルメット着用推進事業」のモニター「あたままもる隊」として1年次生の自転車通学者に対し、県からヘルメットの無償提供を受けました。今後も全生徒に着用を推奨し自転車通学者の安全確保のため、更なるヘルメット着用推進に努めてまいりたいと思います。

進路については、大学進学、県内・県外企業や公務員等就職と、コロナ禍での困難を乗り越え進路目標を達成しています。今年度も、様々な変化への対応が必要となります。そのためには「学び得た知識・技能を生かし、自らでよく考え、正しい判断をし、何事にも主体的に取り組む生きる力」の育成が必要となります。教職員は生徒一人一人の進路目標に対してきめ細やかな指導を行いますので、生徒の皆さんも、学びを止めることなく、進路目標に向かって努力し、進路実現をしてくれることを期待しています。

また、部活動においては、様々な大会が中止になる中、野球部が秋季大会で合同チームとして3年振りの初戦突破、ダンス部は鳥取県を応援するYouTube動画への出演、漫画研究部はまんが甲子園審査員個人賞受賞、写真部・吹奏楽部は近畿高等学校総合文化祭に、パソコン研究同好会がワープロ競技大会中国大会にそれぞれ出場いたしました。多くの生徒が部活動に取り組み、日々の練習の成果を発揮し活躍して欲しいと思います。

生徒の皆さんは「未来の希望」です。「協力」「創造」「理想」の校訓のもと、何事にも主体的に取り組む、挑戦し、「地域に信頼され、地域に貢献する人材」に成長することを願っています。

令和3年4月

鳥取県立米子高等学校長 山口 明美